



# かけはし

長沢中たより 平成31年3月4日(月)  
No. 4 校長 吉川 和良

学校教育目標：自己を高め 他を思いやり 自立できる生徒を育てる (元気ができる学校)

## 学校評価アンケート

年度末を迎え、一年間のまとめの時期になりました。学校も「学校評価アンケート」の結果をもとに、成果と課題を明確にし、次年度につなげていきたいと思っております。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。

肯定的な回答の割合 (よくあてはまる・ややあてはまる)

| 生徒<br>質問内容             | よく<br>あてはまる | やや<br>あてはまる | 合計  |
|------------------------|-------------|-------------|-----|
| わかりやすい授業が進められている       | 18%         | 49%         | 67% |
| 授業の中で仲間と学習を深める時間を作っている | 47%         | 38%         | 85% |
| ペアやグループ学習に積極的に取り組んでいる  | 49%         | 39%         | 88% |

| 保護者<br>質問内容    | よく<br>あてはまる | やや<br>あてはまる | 合計  |
|----------------|-------------|-------------|-----|
| 学習に意欲的に取り組んでいる | 32%         | 39%         | 71% |

本校では、この3年間『主体的な学習を生み出すグループ学習』を学校研究テーマとし、校内授業研究等を通して生徒全員が参加し、学び合える授業を目指してきました。また、新学習指導要領では、授業のあり方に

踏み込んだ内容が示され、大きな柱として『主体的・対話的で深い学び』が据えられています。今回のアンケートで新たに「授業の中で仲間と学習を深める時間を作っている」と「ペアやグループ学習に積極的に取り組んでいる」の2項目を加えました。結果は概ね良好と言えますが、グループ学習が形だけのものではなく、より実りのあるものにしていきたいと考えています。また、学校での学びが家庭での主体的な学びにつながるように、生徒の意識を高める取り組みが必要と感じています。その他、アンケート結果の詳細は別紙「平成30年度長沢中学校学校評価報告」をご覧ください。

## 謙虚さの美しさ

テニスの国際大会で大坂なおみ選手が全米・全豪オープン優勝、世界ランク1位という目覚ましい活躍をし、メディアに取り上げられています。彼女の華々しい活躍は、類(たぐい)まれなる才能と人一倍の努力に裏付けられたものと考えられます。しかし、彼女への称賛を聞いていると、試合中の振る舞いや大会中の発言などから、その「ひとがら」に対して向けられているものが多いと感じます。全豪オープンでは、ある報道機関が「これまでで最も謙虚なチャンピオン」として取り上げました。また、「謙虚な大坂選手は決勝で素晴らしい試合をした相手選手に対して、感謝の意を伝えることを忘れなかった」とも報じています。

日本人の「謙虚さ」は時として、周囲の国からは理解されないことがあります。しかし、謙虚な振る舞い、相手に対する敬意、思いやる気持ち、礼儀正しさは国際社会においても高く評価されています。遠慮しながらも語る姿と世界からの評価に心地よさを感じることができました。

最後に、今年度も本校の教育にご理解・ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。